

## 《さいの神に祈りを込めて…》

来年も下表のとおり4地区・町内会でさいの神が執り行われる予定です。2022年が良い一年になりますように！

実施日	町内会	実施場所
1月10日(祝)10:00~	赤野俣	室橋重機資材置き場
1月16日(日)13:00~	森・池田・桂谷	旧名南中学校グラウンド
1月16日(日)14:00~	折平	折平農村公園
1月16日(日)14:00~	不動	旧不動地区公民館敷地



令和3年2月23日  
森・池田・桂谷町内会

## 《地域支え合い事業》

毎月1回名立地区公民館で開催している「ほんわかカフェ」で、12月15日(水)は少し早いですがクリスマス会としてビンゴゲームを楽しみました。

参加者は真剣にカードを見つめ、数字があると「あった！」と嬉しそうに声をあげていました。

景品はコーディネーター選りすぐりの素敵なものばかりで、寒い冬にぴったりの‘もこもこ靴下’や、かわいらしいポーチ、今では毎日欠かせない‘マスク’などが選べるようになっていて、みなさん欲しいものを持ち帰りましたが、寒い時期なので暖かいものが人気でした♪



## 《賛助会費納入のお礼》

毎年、区内事業所のみなさまへ会費納入のお願いをさせていただいていますが、今年も多くの事業所様から納入いただき、ありがとうございました。

これからも「だれもが安心して暮らせる」まちづくりに取り組んでいきたいと考えておりますので、今後ともみなさまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

### 【納入いただいた事業所様】(敬称略・順不同)

えちご上越農協名立支店 (有)衣料のソーハチ (有)久保埜建築 (株)牛木組 (有)室橋重機工事  
 (有)岩田建築 (有)名立電気 名立商工会 上越市漁業協同組合名立支所 越後森郵便局  
 牛木商事(株) (有)畑商店 (株)霜越建設 食堂徳市 名立川さけ漁業協同組合  
 (株)丸五商事 名立郵便局 沢田屋商店 (有)森田建設 (資)田中商店 (有)竹内板金工業所  
 (有)金井商事 上越信用金庫名立支店 (有)佐藤竹右衛門商店 名立観光協会  
 名立運送(株) (名)小川紙店 福助食堂

よいお年を  
お迎えください

【編集・発行】名立まちづくり協議会 会長 三浦 元二  
 上越市名立区名立大町 200-1(名立地区公民館内)  
 担当:金子 僚子、石井 三千代  
 ☎:025-537-2182 FAX:025-546-7041 ✉:matikyo-nadati@bz04.plala.or.jp



名立まちづくり協議会 会報

# まち協だより

2021.12月25日発行  
No.20.『さらばじゃ  
2021!』号



『これが名立の冬だ!』と言わんばかりの波しぶきが高く舞い上がる時季になり、今年もなんだかんだで間もなく年末を迎えます。

毎号みなさんにご挨拶をしているくり坊(右上)は今年も一年間マスク姿のままでしたが、来年はぜひマスクを外した素顔をお見せできるようになるといいな…と祈っています。

今年もみんなで力を合わせてコロナ禍を乗り切ってきたんだすけ、2022年も大丈夫だね!

## 《プレイバック 2021~大雪ニモ負ケズコロナニモ負ケズいきいきと…~》

◇1月6日(水)~11日(月)大雪

『名立区総合事務所で最大 200cm、森で最大 292cm、東飛山で最大 380cm の積雪を記録し、平成 30 年 1 月の大雪を上回る積雪量』(「名立区総合事務所 HP」)

◇1月17日(日)~2月23日(祝)さいの神~赤野俣・不動・森・折平~

◇2月~3月名立大町ほかお雛さま巡り

◇2月27日(土)灯の回廊・不動ミニキャンドルロード『不動地域生涯学習センター及び不動地区の県道沿いに3千本余りのろうそくを点灯』(同上)

◇6月2日(水)名立区内で新型コロナワクチン接種始まる

◇6月12日(土)不動ひまわりの種まき

◇7月2日(金)名立まつり代替事業・七夕プロジェクトスタート  
~名立中で七夕飾り~

◇7月4日(日)夢プロ「竹田勘兵衛・川東用水学習会」スタート(全3回)

◇7月18日(日)2年ぶりの不動山登山

◇7月23日(金)名立まつり代替事業・オリンピック壁画展(~8月16日)

◇8月1日(日)名立まつり代替事業・聖火リレー

◇8月14日(土)「サヨナラ名南保育園」

◇8月15日(日)16日(月)不動地区ふるさと夏まつり・向山花火大会

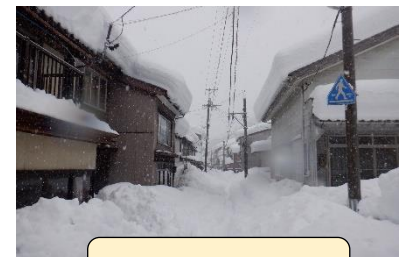
◇10月3日(日)名立地区公民館体育館で北部地区敬老会開催

◇10月11日(月)ろばた館で南部地区敬老会開催

◇10月22日(金)名立区老人クラブ連合会第1回グラウンド・ゴルフ大会

◇11月11日(木)宝田小児童が市営バスに名五美ちゃんのラッピング  
こうして振り返れば2021年もいろいろありましたが、2022年に向けてとびきりの明るい話題はないかと…ありました!

『不動地区で4年ぶりに2人の赤ちゃん誕生!』です。



新町町内



不動山登山



川端町内を聖火リレー



名五美ちゃんラッピング

名立町から上越市名立区になって 15 年が経ち(決してそのせいばかりではありませんが)、“人口減少・少子高齢化”が進んでますし、残念ながらきつとこれからも…なんでしょうが、それでもこうしたニュースを聞くと“明日の名立”に希望が持てる気持ちになります。

未だにコロナ禍の収束も見込めない状況ですが、それでも名立が「一人ひとりの生命と暮らしを守り、みんなで作る誰もが安心して暮らせるまち」になるように新しい年もみんなで力を合わせていきましょう。

## 《夢プロレポート⑤》

当会と名立地区公民館の連携事業として進行中の「なだち再発見・演劇プロジェクト『夢輝いて！』」の来秋の演劇公演に向けて 12 月 9 日に準備会を開催しました。

準備会には関係者・団体のほか、事前の学習会参加者やすでに出演を申し込まれた方など 20 名からお集まりいただき、いり座代表の石井浩順さん(写真左端)から脚本のあらすじや今後のスケジュールなどについて説明がありました。

新しい脚本では公演時間は約 1 時間に短縮され、出演者も 20 名ほどになる見込みですが、それでもまだ出演者に不足しています。

公演に向けての実質的なスタートは来年 2 月の台本読み合わせになります。「出演したい！」はもちろん大歓迎で、そうでなくても公演や「どんな話なの？」などに興味のある方はまち協事務局までお気軽にお問い合わせください。



## 《名立まちづくり協議会の NPO 法人化に向けて③ ～「NPO 法人化でなにがどう変わる?～」》

4 回連続の『名立まちづくり協議会の NPO 法人化についてみなさんと考えていきたい』シリーズの 3 回目は「NPO 法人化でなにがどう変わる?」です。

これまで「NPO 法人とは?」、そして「なぜ今、NPO 法人化なのか?」と進めてきましたが、それでは NPO 法人になることでなにがどう変わるのかを「組織」と「会員」の 2 つの視点から考えてみます。

まず、現在の名立まちづくり協議会という組織については特定非営利活動促進法(NPO 法)と新たに策定される定款に沿って事業・事務運営を行うわけですが、これまで総会で承認されていた事業報告書などは所轄庁である新潟県に提出する義務が生ずるとともに、NPO 法人としての社会的信用の確保のために市民への積極的な情報提供が望ましいことから、厳格な事務処理も必要になってきます。

そして、法人税や消費税など基本的な税金は原則として NPO 法人にも課税されます。

このことはデメリットとして捉えるのではなく、NPO 法人としての義務を果たしていくことが NPO 法人としての社会的信用を維持していくことにつながり、組織としての安定的かつ持続的な存続につながるものになります。

もう一つの「会員」、つまりみなさんにとってどう変わるか…について、NPO 法人化による会費の変更はなく、そのほかにも直接的な変更や影響はないと思われます。

こうして考えてみると(逆説的な言い方になりますが)、いちばん大きく変わる、変わらなければならないのは名立まちづくり協議会のあり方ではないかと思えます。

NPO 法人化は目的ではありません。

NPO 法人化により持続的な組織体制を構築するとともに、従来の委託事業中心の事業内容から、名立まちづくり協議会の設立趣旨である『名立区住民を主体とする地域の連帯を深めつつ、その合意に基づく課題解決により地域の自立を図るとともに、より良い地域社会の形成と発展に資する』事業への



転換を図ること、具体的には昨年度策定した名立まちづくり計画に描いたまちづくりをみなさんと一緒に進めていくことが NPO 法人化の最大の目的と考えています。

## 《岩屋堂観音堂の冬囲い》

岩屋堂観音堂の冬囲い作業に参加してきました。

今、名立区 36 町内会のうち世帯数が 10 未満の町内会がちょうど 1/4 の 9 町内会あり、6 世帯の岩屋堂町内会もその一つです。



参道のお地藏さま

認識を図りながら、今後のまちづくりを考えていきたいと思っています。

## 《上名立地区ポッチャ大会を開催しました!》

11 月 21 日(日)、ろばた館を会場にして上名立地区振興協議会主催のポッチャ大会を開催しました。

昨年は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止を余儀なくされたのですが、今年は感染防止対策を行いながら実施することができました。

当日は上名立地区民だけでなく、名立区全域から 9 チームが出場し、小学校 2 年生から 60 歳代までの 27 名が参加し、大きな歓声を上げながら熱戦が繰り広げられました。そのなかには名立中学校野球部員 13 名もエントリーし、大会を盛り上げてくれました。

ポッチャは今年行われた東京パラリンピックでも話題になっていましたが、年齢・性別・障害を問わず楽しめる競技であるとともに、チームで作戦を練りながら狙ったところにめがけてボールを投げたり転がしたり、それが思うようにできないもどかしさもあり、とても奥が深いスポーツなんだと改めて感じました。



意外にも小学生のショットが正確で、中学生や大人のチームを圧倒する場面もありました。

大会終了後には、会場となったろばた館でお昼を食べたりお風呂を楽しんだり、晩秋の上名立地区の風景を楽しみながらひとときを過ごしていました。

(上名立地区振興協議会事務局石井行信さんからの寄稿)

